

立地生かしたプレカット

インバウンド向け木材販売好調

村上木材

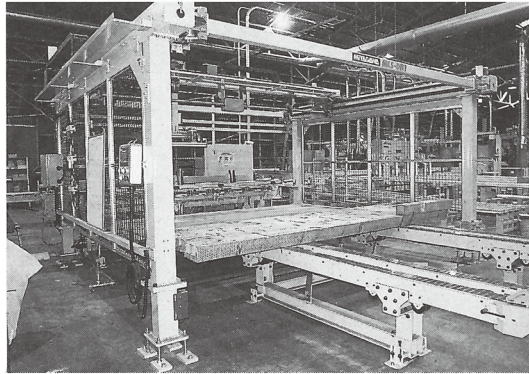
村上木材(大阪市、佐原謙次社長)のプレカット子会社のプレック(同、矢山勝司社長)は、大阪・平林に工場がある。佐原社長は「以前、各地のプレカット工場の敷地面積当たりの加工量を調べたがプレックはかなり上位だった」という。平林という立地を生

内製化し、4人体制で月間20棟の計算業務を行う。構造計算からプレカット加工の一貫体制が施工管理者にとっても便利な機能で、これを生かしていきたいと考えている。

機を生かしての特殊加工対応や工事チームによる施工対応など、非住宅物件に向けた対応力も高めている。

村上木材での米加材の輸入販売は、円安で厳しい環境にあるが、

MPS―55多種加工 佐原社長は「円安を生かして輸出事業も強化していきたい。オフイスM'sで手掛けるムク一枚板事業はインバウンド向けの店舗や宿泊施設向けで忙しい。こうした仕事をとり込んでいきたい」と話す。



限られたスペースを生かして加工する